

多様なスペイン語話者・学習者と繋がる活動

留学希望学生のためのオンライン講座での試み

寺尾美登里(立命館大学)

平井素子(立命館大学)

アンドレス・ペレス・リオボ(同志社大学)

1. はじめに

本発表は、スペイン語圏への留学希望者を対象に開講された課外オンライン講座で実践した取り組みの結果報告である。具体的には、1) 主に産出技能向上のための活動、2) スペイン語で発信し、繋がり、やり取りする活動を本講座で実践した。講座の開講目的は、留学が決まっている学生も含め、留学を希望している学生のスペイン語学習のモチベーションを維持・向上させ、1年後の留学に備えることである。また、受講者の到達目標はスペイン語で発信することへの抵抗をなくし、スペイン語を使うこと、スペイン語の産出(書く・話す)およびやり取りの技能の習得である。元々本講座は、春のスペイン語圏への短期留学参加者を対象に対面で実施していた事前研修であった。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、スペイン語圏への派遣は中止となったが、事前研修は、講座名と内容を変更し、留学を視野に入れたオンラインスペイン語講座として実施することになった。

2. まとめ

1. 実践講座概要

スペイン語を学習して1年目クラス(以下、CEFRのレベルに鑑み、A1クラスとする)と2年目クラス(A1同様、以下A2クラスとする)を設定し、各クラス全9コマの講座とした。各クラスの受講者は冬休みまでに週1回2コマ(5~6限)を受講し、休暇明けに最後の1コマを受講した。テーマを3つ(自己紹介、写真描写と大学紹介)を設定し、各テーマを3コマ(モデル提示、実践、発信)で進めることにした。スペイン語で発信し、繋がり、やり取りする体験をしてもらうため、プラットフォームとしてSlackを採用した。本講座の申込者はA1クラス16名、A2クラス13名、担当教員3名、協力者は現在スペインに留学している日本人学生1名とスペイン在住スペイン語母語話者4名である。申込者は初修語科目が開講されていない学部を含む9学部の学部生、院生で、その中には渡日留学生も含まれており、また、それぞれの学習歴もさまざま、多様な背景を持つ受講者が集まるクラスとなった。

2. 講座授業概要

共通教科書等は設定せず、本講座のために上述のテーマ毎にレベル別で教材を作成した。スペイン語母語話者の協力者並びに各担当教員が事前にモデルとなるテキストをいくつか準備し、自己紹介と大学紹介では動画も使用した。写真描写は、レベルに合わせ、受講者が表現しやすいよう、A1クラスでは自国のおやつ紹介、A2クラスでは自国のクリスマス紹介をテーマとした。受講者は、モデルテキストを読み、そこから考えられる質問やコメントを作成し、能動的に学習した。そして、モデルテキストを参考に自身のことをスペイン語で書き、それを読んで発表し、質疑応答などのやり取りをした。また、オンライン授業の一部では、スペイン在住スペイン語母語話者がライブで参加し、質問やコメントをもらい、実践的なやり取りをする時間を設けた。最終的には、自分で書いた文章を画像とともにSlackに投稿し、受講者、教員のみならず、スペイン在住のさまざまな人からのコメントや質問を受け、やり取りをする機会を多く設けた。また、投稿するだけでなく、他の人が書いたものを読み、それらにも質問やコメントを入れる活動も実施した。

3. 受講後アンケート結果

受講者の満足度は高く、スペイン語学習に役に立ったという回答が多かった。「スペイン語を使う機会が増えた」、「楽しかった」、「スペイン語学習のモチベーションが上がった」等の肯定的なコメントが多くみられた。一方で、1回2コマのスケジュールがきつかったという声もあり、講座設計に課題が残った¹。

3. 今後の課題

上述のとおり、申込者は計29名であった。教員側が期待していたほど申込者数は多くはなく、各回の出席者もさほど多くはなかったため、スケジュールの見直しが必要である。とはいえ、少人数で発言しやすかったという声もあり、双方の希望を満たすのは難しい。だが、今後、留学の中止が続くようであれば、スペイン語学習の選択肢のひとつとして、このような講座により多くの学生に積極的に参加するよう促す方法を探っていききたい。さらに、通常授業とは違い、クラス交流がない状況下ということもあり、Slackを通じてあまりよく知らない人とのやり取りにはあまり積極的ではなかった。ZOOM等を使った直接的な交流の場を増やすことができれば、受講者はやり取りせざるを得ず、また、「留学的」な雰囲気は体験できるかもしれない。一方で、留学プログラムに参加する学生には、初めて出会う現地の人と交流することが求められるため、本講座で実践した活動を今後の留学事前研修にも取り入れることができないか検討したい。

¹ 本研究は科研費JSPS(20723547)の助成を受けたものです。